

(8) 公規価 示準格 価と 格し をた	代表標準地		標準地	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準	街路	0.0	地	街路	0.0	
	標準地番号									標準	交通	0.0	域	交通	0.0	
	中央		5 - 24	補正	環境	0.0	要	環境		+16.0						
	公示価格		[112.1]	100	100	[100.0]	補正	画地		0.0	因	行政	-2.0			
	2,880,000 円 / ㎡		100	[100.0]	[113.7]	100	2,840,000	正	行政	0.0	その他	0.0				
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的 要因の 比較	対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標準	街路	0.0	地	街路	+7.0		
	中央(都)								5 - 9	標準	交通	0.0	域	交通	-3.0	
	前年指定基準地の価格		[124.1]	100	100	[100.0]	補正		環境	0.0	要	環境	+5.0			
	2,570,000 円 / ㎡		100	[105.0]	[106.8]	100	2,840,000		正	画地	+5.0	因	行政	-2.0		
									正	行政	0.0	その他	0.0			
(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格 の等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 2,300,000 円 / ㎡				価 格 形 成 要 因 の	変 動 状 況	{ 一般的 要 因 }	景気は緩やかな回復を続けており、不動産市場も堅調に推移している が、海外事情由来の景気下振れリスクも高まりつつある。								
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討							{ 地 域 要 因 }	低層階は飲食系店舗用途が中心の商業地域であり、賃貸市場の回復に 伴い、地価は堅調に推移し、引き続き上昇を示している。							
	代表標準地		標準地	{ 個別的 要 因 }					個別的要因に変動はない。							
	標準地番号		-													
公示価格		円 / ㎡														
	変動率	年間	+23.5 %		半年間	%										